



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

社名 パス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役 CEO 柴田 励司
(コード番号：3840 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 村尾 正和
電話番号 03-6823-6011 (代)

営業外費用（貸倒引当金繰入額）の計上に関するお知らせ及び、
連結及び個別業績の前期実績値と当期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり平成27年3月期通期において、営業外費用を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、当連結業績及び当個別業績が、前事業年度の実績値に対して、下記の通り差異が発生しましたのでお知らせいたします。当社は当該期間に係る連結及び個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値との比較となっております。

記

I 営業外費用の計上

1. 営業外費用の内容及び金額

① 当社は、当社の子会社であるパス・トラベル株式会社に、平成26年5月30日に18,000千円を運転資金として貸付しております。監査法人と調整の結果、前期である平成26年3月期において債務超過であることから回収可能性が低いとの判断で、同日同額を、貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上し、貸倒引当金を計上致しました。

なお、短期貸付金が平成27年3月30日全額返済されことに伴い、平成27年3月通期である当該事業年度末において、貸倒引当金の残高はありません。

② 当社は、当社の子会社である株式会社giftに、平成27年1月5日に13,000千円、平成27年1月22日に22,000千円を運転資金として合計35,000千円貸付しております。監査法人と調整の結果債務超過であることから、平成27年3月通期である当該事業年度末において、当該会社事業年度末債務超過金額分28,349千円を貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上し、貸倒引当金を計上致しました。

2. 今後の見通し

本件は、本日公表の平成27年3月期の通期の業績に反映しております。

II 業績予想の差異

1. 平成27年3月期（通期）連結業績（平成26年4月1日～平成27年3月31日）
前期実績値との比較

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成26年3月期)	385	△97	△122	△150	△25円43銭
当期実績(B) (平成27年3月期)	616	△159	△175	△150	△17円69銭
増減額 (B-A)	231	△61	△52	△0	—
増減率 (%)	60.1	—	—	—	—

(注) 当社は、平成26年1月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純損失を算定しております。

2. 平成27年3月期（通期）個別業績（平成26年4月1日～平成27年3月31日）
前期実績値との比較

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成26年3月期)	18	△80	△133	△148	△25円21銭
当期実績(B) (平成27年3月期)	72	△75	△136	△162	△19円11銭
増減額 (B-A)	53	4	△3	△13	—
増減率 (%)	283.3	—	—	—	—

(注) 当社は、平成26年1月24日開催の取締役会の決議に基づき、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純損失を算定しております。

3. 差異の理由

連結業績については、当連結会計年度より、株式会社 gift を連結子会社としたことにより、メディア事業の売上高が平成 27 年 1 月から 3 ヶ月間連結され増加致しました。一方、営業利益については、同社を連結子会社としたことにより、メディア事業の営業損失が 74 百万円発生し、前期より損失額が増加致しました。また個別業績については、平成 27 年 3 月期第 2 四半期より、コンサルティング事業を開始したことに伴い売上高が増加致しました。

以 上